

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

イースター礼拝 4/5(日) 10:30~11:40

イースターは、イエス・キリストが十字架にかかって死なれ、3日目に復活された日です。これを記念して、イースター礼拝をささげます。どなたでもぜひ、お越しください。



森繁 昇コンサート 4/26(日) 15:00~16:30

23回目の今年は春に行きます。楽しいお話と歌は何度聞いても心に励ましが届きます。



【プロフィール】山口県生まれ。1973年 米国に渡り、イエス・キリストに出会う。翌年、クリスチャンになる。音楽を通してキリストの愛と救いを伝え始める。1986年ハワイに拠点を移す。年間3~5回来日し、教会、道の駅、公園、通りなどで、ゴスペル(良い知らせ)を通して、永遠の希望を歌いながら各地を旅している。

ライブ配信を教会のホームページからご覧いただけます。

教会からのオススメの一冊

「イースター あたらしいのち」

加藤潤子 絵・文 (いのちのことば社)

「最初の復活祭」

クリスティーナ・カライ・ナギー 絵/ベサン・ジェームズ 文
サンパウロ 訳 (サンパウロ)

イースターは、クリスマスと同じくらい、キリスト教にとって重要な日です。そこで今回は、イースターの絵本を2冊ご紹介いたします。「イースター あたらしいのち」と「最初の復活祭」です。

「イースター あたらしいのち」は、イースターのメッセージをシンプルにまとめた内容になっています。やさしい絵が親しみやすく、文章が全てひらがなで、簡潔な文体になっているため、小学校低学年のお子様でも、読みやすいようになっています。

「最初の復活祭」は、さらに詳しい内容になっています。キリストがロバの子に乗ってエルサレムに入っていく場面や、復活されたキリストが弟子たちの前に現れる場面など、一般的にはあまり知ら

れていないことについても知ることができます。漢字には全てルビが振られ、お子様が一人で読まれるのにも、また、大人の方が読み聞かせをされるのにも最適です。

キリストはこう言われました、「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです」。この言葉の通り、キリストの復活は、永遠のいのちの希望につながります。ですから、イースターに親しみ、キリストの復活について知ることは、聖書が語る大切なメッセージに近づくことになり、希望にあふれた生き方への扉が開かれます。

ぜひ、お子様と一緒に、イースターに触れていただきたいと願います。

購入をご希望の方は、教会までお申し付けください。書店から取り寄せて、販売させていただきます。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日
10:30~11:40

希望のダイヤル (聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

インターネットでも
配信中



わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

日ざしが春めいて 木々の葉がふくらんでいる姿は美しい



喜びと平安の源

今年のイースター(復活祭)は4月5日。“今年の”と言うのは、イースターがその年によって移動するからです。春分の後の満月の次に来る日曜日を、イースターとされているのです。

イースターは喜びの時です。なぜなら、イエス・キリストが墓の中からよみがえられたからです。“死人がよみがえるなど、信じられない”と多くの方は言います。イエス様の弟子たちでさえ、なかなか信じられなかったのです。

イエス様が復活された日の夕方、弟子たちは家の中に閉じこもっていました。戸も窓も締め切って、ガタガタ震えていたのです。自分たちの先生であるイエス様が十字架に付けられて殺されたのですから、今度は自分たちの番ではないかと思うと、恐ろしくてたまらなかったのです。

復活された日の朝、イエス様が葬られた墓に行った女性たちから、墓が空だったことを彼らは聞いていました。しかし、彼らはイエス様が復活されたのだと、悟ることがで

きませんでした。かねてからイエス様が語っておられた復活の予告を思い出すことすらできなかったのです。

そのような彼らに、よみがえられたイエス様が現れました。戸や窓が閉めてあったのに、スーツと入って来られたのです。そして、いぶかる弟子たちに、十字架で受けられた手と脇腹の傷を示されました。その時、彼らはそれがイエス様だとわかり、喜びに満たされました。「こう言って、イエスは手と脇腹を彼らに示された。弟子たちは主を見て喜んだ。」(ヨハネの福音書20章20節)

悲しみは喜びに、恐れは平安に変えられました。喜びと平安の源は、復活のイエス様を信じることにあります。私たちの罪のために十字架で死なれ、よみがえられたイエス様を信じるころから、喜びと平安に満ちた歩みが始まります。十字架で罪が赦され、永遠のいのちをいただいたなら、この厳しい世の中であって、勝利をもって歩んで行くことができるのです。あなたもそのような歩みを始められませんか。



ナスナ
齋 — 別の名をペンペングサという —

春の七草のひとつである

日本では 室町時代から ^{ナナグサ}七種がゆに入れるようになった
1月7日の新春の頃 地面に張りついた 緑の若苗である

野菜のない 冬の貴重な食べ物であった

やがて茎をのぼし 先端に白い花卉の 十字形の花を咲かせる

3月頃から 次々と花をつけ 花の後に三味線のバチの形に似た果実をつける
ペンペングサとか 三味線草と呼ばれるのだった

春の七種といえば 「セリ ナズナ ゴギョウ ハコベラ …」

と言い継がれ 教えられてきたが いつも1つか2つ ぬけてしまっていた!!

そんな幼い頃を思い出す

ナスナの名は ^メ愛でるものの意味で ^{ナデナ}「撫菜」

また 夏には枯れてなくなるので ^{ナツナ}「夏無」から

変化して来た などといわれている

学名のプルサパストリスは 「羊飼いのさいふ」の意味である

2月頃から旺盛に繁殖し 今では 北半球の温帯地域に広がっている

わたしは道であり 真理であり 命である

わたしを通らなければ だれも父のもとに行くことができない

ヨハネ14章 (聖書)